

全領域合同 研究交流会

平成30年度 前期第3回

6月28日(木)

13:00~

会場：学際研・研究教育院棟 1階セミナー室



ポスター発表(13:00-14:30)

『皮膚の健康への電気的アプローチ』

— 阿部 結奈 (工学研究科 / 生命・環境領域)

『X線CTによる血管新生阻害薬の薬効評価』

— 徳永 正之 (医学系研究科 / 生命・環境領域)

『面分子干渉を考慮した燃料電池触媒層酸素輸送現象の解析』

— 中内 将隆 (工学研究科 / 物質材料・エネルギー領域)

『魚類を用いた再生研究：ヒトの手足は再生できるのか』

— 植本 俊明 (生命科学研究科 / 生命・環境領域)

『地震の予測：これまで・現状・これから』

— 岩田 大地 (理学研究科 / 先端基礎科学領域)

『ストレスに負けない人ってどんな人？』

— 松平 泉 (医学系研究科 / 生命・環境領域)

『高時空間光学計測によるガスハイドレート分解現象の可視化』

— 神田 雄貴 (工学研究科 / 物質材料・エネルギー領域)

口頭発表(14:40-15:00)

『今あなたに知ってほしい！古地磁気学』

What is "Paleomagnetism"?

— 熊谷 祐穂 (理学研究科 / 先端基礎科学領域)

Scan
to discover!



お問合せ
学際高等研究教育院 総合戦略研究教育企画室
022-795-5749 E-mail:senryaku@iiare.tohoku.ac.jp

多様化・精密化する現代で私たちが直面する多くの問題には、様々な要因が複雑に絡み合っています。学問体系の枠組みにこだわらず、異なる研究分野同士が手を取り合って新たな学問領域を切り開き、種々の課題に立ち向かうことが必要です。特に学際科学フロンティア研究所の若手研究者と学際高等研究教育院の研究教育院生は、先陣を切って分野横断的な融合領域研究を推進することが求められます。

融合領域の創成には、複眼的・多角的な視点が不可欠です。この視点を養うために「全領域合同研究交流会」では、若手研究者と大学院生が自身の研究をわかりやすく紹介し、自然科学・人文社会科学の境界を越えた議論を行っています。参加者が各々の研究を見つめ直し、深め、広げる機会でもあります。

本交流会は、学際高等研究教育院の研究教育院生が中心となって運営しています。学際科学フロンティア研究所・学際高等研究教育院に所属する方はもちろん、東北大学のすべての研究者・大学院生・学部学生の参加を歓迎します。

平成30年度 全領域合同研究交流会 運営委員会

次回予告

平成30年度前期 第4回：7月10日(火) 13:00~

※詳細は決まり次第ホームページにてお知らせします
http://www.fris.tohoku.ac.jp/feature/whole_area_info/